

（ほ）うこん

題字・清水英夫

GALAC・9月号・付録
2018年9月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

各委員会新体制スタート

―7月理事会報告―

2018年7月31日、7月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 鈴木副委員長

・9月号表紙は吉岡里帆さん。特集は「医療ドラマの魅力／おっさんずラブ♥現象」の二本立て。話題のドラマを取り上げることにかんがりの反響があり、Amazonから通常を大きく上回る発注があった。予約受付中の放懇オンラインショップでも多数の注文があり、増刷して対応する。

・7月17日に編集委員会を開催し、10、11月号について検討した。

・10月号はクイズ番組特集。BSを含め昨今クイズ番組が増えており、「なぜ今クイズなのか」を探る。

・11月号は「気象・災害情報最前線」特集を企画している。西日本

豪雨を受け、メディアの対応状況などを取り上げる。また、放送規制改革シリーズ第1弾を掲載予定。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉 出田委員長

・新委員として梅田恵子さん、兼高聖雄さん、戸部田誠さん、細井尚子さんが加わった。

・6月29日に月評会を開催した。月間賞には「コンフィデンスマンJP」（フジテレビ）、「モンテ・クリスト伯―華麗なる復讐―」（フジテレビ）、E TV特集「基地で働き 基地と闘う沖縄 上原康助の苦悩」（NHK）、ドラマ25「宮本から君へ」（テレビ東京）の4本を選んだ。

〈ラジオ部門〉 五井委員長

・北郷委員が退任し、茅原良平さんが新委員として加わることとな

った。

・6月25日に定例会を開催し、プロ野球ナイター中継中止後の新番組「アフター6ジャンクション」（TBSラジオ）を聴取し議論を交わした。

・7月10日に定例会を開催した。

「食とラジオ」をテーマに「桐原トールのシェフが行く店のシェフが行く店」（伊集院光とらじおと）内・TBSラジオ、「全国食べ物うまいもの」（「マイあさラジオ」内・NHK）、「おいしく食べてヘルスケア」（「朝ワイ！ダッシュ」内・青森放送）、「キューピーラジオオクッキング」（「つボイノリオの聞けば聞くほど」内・CBCラジオ）を聴取し議論を交わした。

・7月22日に「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会」を文化放送で開催した。出席者は一般39名、学生7名。若干の赤字にはなったが盛況であった。

〈CM部門〉 服部委員長

・6月17日に定例会を開催し、31本のCMを視聴した。W杯の時期で応援CMが多く、中でもau「全力アイド篇」、adidas「C

create the Answer」、コ
カ・コーラ「Stock UP篇」
「Ready For篇」、「SAMAN
med」(アイスランドのCM)などが
好評だった。ほかに、最近の花王の
CM傾向についても議論を交わした。

・7月19日に定例会を開催し、33本
のCMを視聴した。引き続きW杯関
連CMから、キリン「We're in
the same boat. 決戦篇(長
谷部選手)」、日清 カップヌードル
「大坂半端ないって篇」に注目が集
まった。ほかに、象印 炎舞炊き「炎
の舞篇」なども好評だった。

〈報道活動部門〉藤久委員

・報告は特になし。

◇企画事業委員会 桜井委員長

・新委員として佐藤友紀さんが加わ
ることとなった。

・7月12日に委員会を開催し、次回
セミナーのテーマを検討し、放送規
制改革、4K・8K、災害報道など
の候補が上がった。「地方局の存在
意義と災害報道の必要性を結びつ
けられないか」などの意見があり、放
送の社会的役割を見直す機会にし
たいと考えている。

◇広報委員会 茅原副委員長

・新委員として柳川素子さんが加わ
ることとなった。

・7月20日に委員会を開催した。贈
賞式後初の委員会だったため、6月
理事会で報告した贈賞式での取材反
省を改めて振り返って検証した。

・特別賞・バカリズムさんビデオメ
ッセージのほか、DJパーソナリテ
イ賞・村山仁志さん、55周年記念賞・
倉本聰さん、フロンティア賞・72時
間ホンネテレビ(Abe ma TV)、
個人賞・高橋一生さんの贈賞式動画
を、正会員・Gメンバー限定でGメ
ンバーサイトに毎週金曜日に公開中。
・7月6日に高橋一生さんの「受賞
のことば」独占インタビューをGメ
ンバーサイトに先行掲載、13日にフ
エイズブック、インスタグラムにア
ップした。現時点の再生回数はフェ
イスブック447回、インスタグラ
ム3108回。

・「聴く会」に3名招待のお知らせ
をし、2名から参加表明、出席した。
・今期のIT導入補助金は、HPリ
ニューアルを対象としないことがわ
かったため、申請を見送ることとし
た。ITコーディネーターを介して
8月末に業者を決定したい。

・HPの構成を検討した。今後コン
テンツを増やせるように空ページを
設け、柔軟な対応ができるようなり
リニューアルを目指す。

2. その他

①入退会の件

〈入会〉梅田恵子さん、佐藤友紀さ
ん、柴田篤さん、戸部田誠さん、細
井尚子さん

〈退会〉節丸雅茅さん

②ギャラクシー賞贈賞式決算

前年度比95万円程度支出が増加した。
会場費(ゲスト控室)、雑費(花束な
ど)、メイク・スタイリング料、映像・
音響・照明(ビデオ取材、素材リニ
ューアル、人件費など)、トロフィ
ー・賞状制作費などの支出増が目立
った。

③ギャラクシー賞2019年開催日
2019年5月31日(金)の開催を
承認した。

④トロフィールブリカ受注状況

・18個の注文を受け作成・発送を完
了した。前年比5個増となった。

⑤「日韓中テレビ制作者フォーラ
ム」開催の件

「第18回日韓中テレビ制作者フォー
ラム」光州大会の協力を承認した。

⑥「ザ・ベストテレビ2018」(NHK)協力の件

「ザ・ベストテレビ2018」の協力を承認した。

今回の理事会

9月21日(金)、10月25日(木)

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、藤久ミネ、川喜田尚、稗田政憲、出田幸彦、五井千鶴子、服部千恵子、桜井聖子、入江たのし、岩根彰子、奥律哉、茅原良平、上滝徹也、小林毅、坂本衛、鈴木健司、鈴木嘉一、山田健太、中島好登

会議記録

〔7月〕……………

(選奨) ラジオ定例会部会

企画事業委員会

(選奨) CM定例会部会

出版編集委員会

広報委員会

(選奨) テレビ月評会

理事会

31日
26日
20日

作るのも、見るのも好き。

家田利一

博報堂の入社が1974年。まずはラジオCMに配属されて、既にレジェンドだった井澤轟(ひとし)さんに「てにをは」から指導されました。一年後、最初に手がけたCM企画は日清フーズの小麦粉でした。うどん教室で実際に作った体験から長い歌を書きました。ベースにしたのは「南京玉すだれ」で「夏は濃いめで、冬薄め」という塩加減の歌詞が気に入っていました。クライアアントの方が喜んでくれて制作に入り「あれよあれよ」という間に完成しました。南京玉すだれは、結局デュークエイセスの歌になりましたが、あと最初のコンテ通りでした。

作業が楽しいだけではなく、プランナーがCMの起点になるということを理解できました。初体験に恵まれたことで、その後もCMを作り続けることができたと思います。

CM委員を拝命したのは、先輩の横川紀子さんのご紹介です。つい企画の視点からCMを見てしまいますが、批評も懇談も楽しくやっています。と思います。

新入正会員自己紹介

企み事はバレないように!

島崎英雄

1977年企業内クリエイターとして味の素(株)広告部に入社し商品デザインから広告表現まで手掛けました。しかし、思い返すと私が考えて私が決めたと言える仕事は有るようで無いのです。すべて合議で決まり広告会社がつくりません。なので存在感がありません。それでもカルピスやAGFにも関わり、違った企業文化に触れながら広告会社と仲良く手を組み「企み事」を実行しました。それが企業スローガンです。

当然、簡単には決まらないのですが、なんとか思い通りになりました。「あしたのもとAJINOMOTO」「カラダにピースCALPIIS」「いつでもふうAGF」どれも稟議事項です。そこに行きつくまで365日掛かります(私の場合)。思い通りに落としていくって大変ですよ。でも思い通り落とすことにハマってしまい広告の面白さをちよっぴり満喫してきました。

これからCM委員会にお誘いください。さつた服部千恵子さんにご迷惑をお掛けしないよう努めます。

身近で深いラジオの世界

迎康子

「なぜ、NHKには深夜放送がないのですか？」四十数年前入局した時の素朴な質問だった。

中学生の頃から、ラジオの深夜放送は「大切な友、同級生が送った葉書」が紹介されるのがただ羨ましかった。当時午前0時で終了だったラジオで、平成2年から深夜放送が始まったが、私が十代で慣れ親しんだ深夜の世界とはかなり趣が異なっていて、お年寄りや早寝早起きな人が多い、というのはとんでもない思い込みであった。

「故郷を離れ、都会で息子の一家と暮らし始めました。夜明け前目が覚めるので、ふとんの中でそっとラジオを聴いています」「深夜放送で懐かしい音楽が流れてくるだけで今自分はひとりぼっちではないと安心できる」

全国からいただくお便りを拝見すると、それぞれの人の暮らしがあり、哀しみや喜びがあることがわかる。深夜の放送は静かに寄り添う身近な存在であり続けたいと思う。

新入正会員自己紹介

初心に帰って

本村隆

今から51年前、中学3年の時にラジオの深夜放送の虜になりました。家が裕福でなかったので、科学雑誌の付録の鉱石ラジオで聴くようになりました。ラジオ関東で「昨日のつづき」や「ポトジョッキー」などを聴いているうちに深夜になり、TBSラジオに回すと「パック・イン・ミュージック」の妖精バックがそとと囁く……。そんな縁もあり、東京放送(現TBS)に入社しました。

ラジオ営業局CM部を振り出しに、テレビに移ってからは主に報道局で番組制作に関わりました。一番大きな仕事は、1990年に日本人初の宇宙飛行士を送り出した「宇宙プロジェクト」の現地プロデューサーでした。その後、ラジオニュースのデスクやラジオスポーツのプロデューサーを務めました。ラ・テ兼営局だったからこそいろいろな仕事があったのだと思います。

今回、伊藤友治さんからお声をかけていただきました。振り出しに戻った気分、精一杯頑張りたいと思います。

新入正会員自己紹介

役割や責任増した放送

山田真嗣

私事だが、放送の業界団体の仕事に携わってこの春で10年が経った。10年前といえば、まだ地上波テレビはアナログサイマル期。「60年ぶり」と言われる放送法の大改正を控えていた。TVerやRadioはまだまだなく、HuluやNETFLIXの配信サービスも米国で産声を上げたばかりだった。

あれから10年。今では何回人生があっても消費しきれないほどのコンテンツが動画配信サイトに溢れている。子どもから為政者まで、誰もが自由にコンテンツを作り披露できるようになり、SNSを通じた放送番組への批判や中傷も容易になった。

だからこそ、多くの人が手をかけ、真実にこだわり、誰かを傷つけることを諒とせず、地域の日常から世界の出来事まで伝える放送の役割や責任は、他メディアと相対的にも絶対的にも増したように感じる。

先輩たちがつないできた放送の意義を多くの人に伝えていく当懇談会の役割に、少しでも貢献できればと考えている。